

反戦の訴え ロシア内外で

50都市超で17万人参加 独気候対策若者団体がデモ行進

【ベルリン＝森野昌義】ドイツ各地で、気候変動対策を求める若者の団体「未来のための金融口（FFD）」がロシアによるウクライナへの侵略に抗議し、反戦を訴えてデモ行進しました。

日本ではインバウンド、都市以上で17万人参加と発表しました。北部ハンブルクでは12万人（若者団体）が「この命を戻せた」と書いたプラカードを掲げました。



医師・看護師ら1万人超

ロシア国内 大統領に公開書簡

われわれは人間の命を守ることを使命としている。ロシアの医師、看護師ら約1万5000人がブーチン大統領に、ただちにウクライナでのすべての戦闘をやめるよう求めた公開書簡を出した。英國医師会発行の医学雑誌「アリスト・ジャーナル（BMJ）」が一日、報じました。

書簡では「医者は国々、宗教、政治的見解にかかわらず、すべての人を助けるべきです。

われわれは人間の命を守ることを使命としている。ロシアの医師、看護師ら約1万5000人がブーチン大統領に、ただちにウクライナでのすべての戦闘をやめるよう求めた公開書簡を出した。英國医師会発行の医学雑誌「アリスト・ジャーナル（BMJ）」が一日、報じました。

書簡では「医者は国々、宗教、政治的見解にかかわらず、すべての人を助けるべきです。

だが立ち上がり、声をあげるのを止めるものはない」と抗議した。ドイツ全土の教室で「戦争を止めよう」の横断幕を掲げました。ベルリンの連邦議会前で開催されたミュンヘンで、戦争を止めようとする人々が参加して、戦争を止めようとした。ドイツの連邦議会では、ロシアの侵略開始から「日曜が通過したことを受け、「無意味な戦争」に対する抗議行動として鐘を鳴らしました。

これが「日曜が通過したこと」でした。ドイツ全土の教室で「戦争を止めよう」の横断幕を掲げました。ベルリンの連邦議会前で開催されたミュンヘンで、戦争を止めようとする人々が参加して、戦争を止めようとした。ドイツ全土の教室で「戦争を止めよう」の横断幕を掲げました。ベルリンの連邦議会前で開催されたミュンヘンで、戦争を止めようとする人々が参加して、戦争を止めようとした。

REは透明で、ドイツのロシアからの石油、天然ガス、石炭の輸入をやめるよう要求。「戦争は資源をめぐって起きている。化石燃料資源枯渇」が、今回の戦争やその他の多くの紛争、危機的原因をつり出している」と指摘しました。REはドイツの中心メンバー、ルイサ・バイウアーさんは「私

受けた人たちの治療と回復には何よりもかかる」と指摘。「(U)のような目的があらざるとも、致命的な武器の使用は正当化できない」と強調しました。

BMJの一日の記事では、MAD MEDS（ディアの関係者で医者）のクセニア・スボロバ氏のインタビューを掲載。スボロバ氏は、「ロシアの医師や医療関係者がウクライナの軍事作戦に参画せようとすると、ほとんどの医師は戦争に反対だ」と語りました。

シテの医師や医療関係者もウクライナの軍事作戦に参画せようとすると、ほとんどの医師は戦争に反対だ」と語りました。